

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名 畜産協会等事業推進費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 養豚・養鶏係 電話番号：058-272-1111(内4134)

E-mail：c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,757 千円 (前年度予算額： 12,065 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	12,065	0	0	0	0	0	0	0	12,065
要求額	10,757	0	0	0	0	0	0	0	10,757
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

(一社)岐阜県畜産協会は、会員からの会費と出資金利息、国・県からの補助金、畜産関係中央団体からの助成金によって運営されているが、近年は補助金、助成金が削減傾向にあることから、運営資金が逼迫している。

(2) 事業内容

畜産経営の健全な発展及び県民に安全な畜産物を安定的に供給するため、(一社)岐阜県畜産協会が、畜産振興及び経営指導を行う中核団体として、畜産農家及び畜産関係団体を対象に、県行政を補完して実施する以下の事業等に対して助成する。

- 1) 畜産コンサルタント事業
- 2) 家畜改良事業
- 3) 畜産展示会等事業
- 4) 畜産振興計画推進事業
- 5) 家畜・家禽及び畜産物流通対策事業
- 6) 畜産環境保全推進指導事業
- 7) 自給飼料生産指導事業
- 8) 養豚業再生支援事業
- 9) 地域畜産振興事業

（３）県負担・補助率の考え方

畜産協会は収入基盤が脆弱であるため、県畜産施策上必要と思われる事業について必要な範囲内で補助を行う。

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,757	畜産振興及び経営指導等経費
合計	10,757	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）後年度の財政負担

本県の畜産経営基盤強化のために必要な事業であり、畜産協会の運営基盤強化や事務効率化等の必要な検討を行いつつ、今後も県単独補助事業として継続していく。

（２）事業主体及びその妥当性

（一社）岐阜県畜産協会は、畜産経営の発展及び安全な畜産物を安定的に供給するため、県行政の補完的立場で民間畜産指導体制の中核体として、各種団体の指導、連携により民間の技術者を動員、活用し、県内畜産農家指導等を担う県内唯一の機関である。

県単独補助金事業評価調書

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	畜産協会等事業推進費補助金
補助事業者（団体）	（一社）岐阜県畜産協会 （理由） 県行政の補完的立場で民間畜産指導体制の中核体として、畜産農家指導等を担う県内唯一の機関
補助事業の概要	（目的） （一社）岐阜県畜産協会が、畜産振興及び経営指導を行う中核団体として、畜産農家及び畜産関係団体を対象に実施する以下の事業等に対して助成する。 （内容） 1）畜産コンサルタント事業 2）家畜改良事業 3）畜産展示会等事業 4）畜産振興計画推進事業 5）家畜・家禽及び畜産物流通対策事業 6）畜産環境保全推進指導事業 7）自給飼料生産指導事業 8）養豚業再生支援事業 9）地域畜産振興事業
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他（例：人件費相当額） （内容） 県畜産施策上必要な事業にかかる経費の1/2以内等 （理由） 畜産協会は収入基盤が脆弱であるため、県畜産施策上必要な事業について必要な範囲内で補助が必要。
補助効果	畜産農家の技術向上と経営の安定
終期の設定	終期 令和12年度 （理由） 県行政を補完する民間畜産指導団体として、畜産農家等の指導を行っており、県畜産振興のため、事業の継続が必要。

(事業目標)

畜産農家への指導体制の強化を図り、経営感覚の優れた生産性の高い畜産農家を育成する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R6年度)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
①飛騨牛認定頭数	10,237	10,237	10,500	策定中	策定中	—
②豚飼養頭数	108,723	108,723	116,000	策定中	策定中	—

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	13,244	12,065	12,065

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	県行政の補完的立場で、酪農、肉用牛、乳肉複合農家に対して個別支援指導を行った。
	指標① 目標：10,500 実績：10,152 達成率：96.7%
	指標② 目標：116,000 実績：98,262 達成率：84.7%
令和5年度	県行政の補完的立場で、酪農、肉用牛、乳肉複合農家に対して個別支援指導を行った。
	指標① 目標：10,500 実績：9,990 達成率：95.1%
	指標② 目標：116,000 実績：101,611 達成率：87.6%
令和6年度	県行政の補完的立場で、酪農、肉用牛、乳肉複合農家に対して個別支援指導を行った。
	指標① 目標：10,500 実績：10,237 達成率：97.5%
	指標② 目標：116,000 実績：108,723 達成率：93.7%

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	県行政の補完的立場で、民間畜産指導体制の中核として各種団体の指導、連携を図り、県内畜産農家等の指導を担っており、必要性が高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50～100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価) 2	畜産農家等への指導、各種情報提供、PR事業により、農家の経営改善に寄与している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	県行政及び畜産関係団体と連携し、効率的に事業を遂行している。

(今後の課題)

(一社)岐阜県畜産協会は、会員からの会費と出資金利息、国・県からの補助金等によって運営されているが、近年は補助金等が減少しており、運営資金がひっ迫している。
--

(次年度の方針)

本県の畜産経営基盤強化のために必要な事業であり、協会自体の運営基盤強化や事務効率化等、必要な検討を行いつつ、今後も県単独補助事業として継続していく必要がある。
